

社 1

平安時代の中ごろになると、律令制度はゆきづまり、日向国では荘園が増えていきました。摂関家の島津荘、大分県の宇佐神宮の宇佐宮領、天皇家の国富荘などの大きな荘園がありました。荘園は天皇や貴族、寺社のものでしたが、1185年に平氏を滅ぼした源頼朝は、朝廷から荘園・公領（朝廷や国司が支配する土地）に(2)□□を任命する権利を得て、武士が大きな力を持つようになりました。島津荘は源頼朝の御家人の武士に与えられ、その武士が南九州の大名として知られる島津氏の祖となりました。1221年の承久の乱の後、鎌倉幕府は後鳥羽上皇に味方した貴族や武士の土地を取り上げ、そこに新しい(2)□□を任命して、西日本にも支配を広げました。1333年に鎌倉幕府が滅ぶと、政治の進めかたをめぐって後醍醐天皇と(3)□□□□が対立し、南北朝時代が約60年間続きました。日向国でも武士たちの争いが起こり、島津氏が戦いに勝ち残りました。島津氏は戦国時代に九州北部にまで支配地を広げましたが、1587年に豊臣秀吉に敗れました。江戸時代になると、日向国はいくつかの藩や幕府の領地である(4)□□に分かれ、その後、明治時代を迎えます。

1868年、薩摩藩や長州藩を中心とする勢力が江戸幕府を倒し、明治政府をつくりました。明治政府は天皇を中心とした政治をおこなうとして「五箇条の誓文」を發布し、年号（元号）を「明治」と改め、首都を東京に遷しました。

1872年に明治政府は新しい暦として「神武天皇即位紀元」を定めました。天照大神の子孫だという神武天皇が大和国（現在の奈良県）へ向かい、大和国の橿原の地で即位したとされる年を紀元前660年と決め、「皇紀元年」としました。神武天皇は『古事記』や『日本書紀』に登場する架空（実際には存在していないこと）の人物でしたが、実在した天皇として、初代の天皇、皇室の祖先であると強調されました。そして、橿原には神武天皇を祀る神社が建てられました。第2次世界大戦が終わるまで、小学校の歴史の教科書には歴代の天皇のことが書かれ、こうした神話が実際にあったことだと教えられました。

「皇紀」を新たに設けることで、明治政府は天皇が治める国「日本」を作り上げようとした。

明治政府はヨーロッパやアメリカなどの国々で使われていた暦に合わせるため、それまで使われていた太陰暦（月の満ち欠けを周期とした暦）をやめ、太陽暦（現在使われている暦）を採り入れました。1872（明治5）年12月3日を1873（明治6）年1月1日とし、神武天皇が即位した日は西暦に改めると紀元前660年2月11日にあたるとして、この日を「紀元節」という、国の「祝祭日（天皇に関わりの深い行事をおこなう日として、国民が祝うことになった日）」に決めました。祝祭日は、明治時代になって初めて設けられたものでした。江戸時代は「節句（季節ごとのお祝いの日）」があるくらいで、天皇に関わる祝日はありませんでした。

この時代の暦をみると、正月（1月1日）、元始祭（1月3日 天皇の位の始まりを祝う）、新年宴会（1月5日 天皇が臣下とともに宴を開く）、紀元節（2月11日）、春季皇霊祭（春分の日）、神武天皇祭（4月3日）、秋季皇霊祭（秋分の日）、神嘗祭（10月17日 新しく実った穀物を神にささげる）、天長節（11月3日 天皇誕生日のこと 昭和時代になると、明治天皇の誕生日の11月3日を「明治節」と呼びました）、新嘗祭（11月23日 新しい穀物を祖先の神々にささげ、天皇も食べる）が、祝祭日とされました。「天長節」は天皇の誕生日であるため、天皇の代替わりとともに変わりました。これらのうち、年始、紀元節、天長節を「三大節」と呼んで、国全体で盛大に祝いました。紀元節や天長節には、生徒は学校に登校し、御真影（天皇・皇后の肖像写真）を拝み、1890年に発布された(5)□□□□を校長が読み上げ、「君が代」などの歌を歌うことが儀式として定められていました。

「皇紀」は1948年に廃止され、これらの祝祭日は無くなりました。

自由民権運動の高まりのなかで、藩閥政府への批判や憲法の制定を求める声が大きくなると、明治政府は1881年に(6)□□開設の勅諭を出し、1890年に(6)□□を開設することを約束しました。明治政府がこの時に考えていた憲法は、天皇が定めて国民に与える形のものです。翌年、伊藤博文たちはヨーロッパで憲法について調べ、皇帝の権限が強いプロイセン（現在のドイツ）の理論を参考にして、準備を進めました。その一方で、民間の人々の間でも、自分たちで憲法案をつくろうと、さまざまな案が考えられました。明治政府は国民に内容を秘密にしたまま憲法案の作成を進め、(7)□□□□年2月11日、大日本帝国憲法が発布されました。この憲法では、天皇は神聖で侵してはならないものとされ、国の主権者として大きな権限を持ちました。これにより、国の主権者である天皇が、国民を臣民として従える、明治政府が目指した国家ができあがりました。

「八紘一宇」という言葉は、明治時代の末に、ある宗教家によって作られました。言葉のもととなった部分は、『日本書紀』にあった次の部分です。

「六合を兼ねもって都を開き、八紘をおおいて宇とせむこと、またよからずや」（現代語訳）

天皇のもとに国をまとめて都をつくり、世界中のすべてを一つの家のようにすることは、素晴らしいことである。

これは、「天皇を中心に世界を一つの家にする」という意味です。1930年代になると、軍部（軍を政治的な存在とみて用いる呼び方）がこの言葉をだんだん用いるようになっていきました。

満州事変が起きた翌年の1932年、日本は清朝最後の皇帝であった人物を満州国の代表にたて、建国を宣言させました。これに対し国際連盟は調査団を送り、1933年の臨時総会で、満州国は日本の傀儡（自分の意志ではなく、あやつられて動くもの）であるとし、日本に満州国の承認をやめるように求めました。日本はこれを受け入れず、国際連盟から脱退し、国際社会のなかで孤立していきました。

(8)□□□□年7月7日、盧溝橋事件をきっかけに日中戦争が始まると、戦いは政府の予想を大きく超えて拡大しました。日本軍は12月に(9)□□□□を占領しましたが、中華民国国民政府は抵抗を続け、戦争は泥沼化していきました。日本は「国民政府は相手にしない」といって、日本、満州国、中華民国の3国で「東亜新秩序（東アジアの新しい秩序）」をつくることを戦争の目的に掲げ、1940年に(9)□□□□に満州国と同じような傀儡の政府（汪兆銘政権）をつくったものの、この政府は中華民国の国民から支持されず、失敗しました。

長引く戦争を正当化するため、政府は国家の方針のなかで「八紘一宇」の言葉を使って戦争を続けました。翌年の1941年(10)□□月□日にアジア太平洋戦争が始まり、戦争は東南アジアや太平洋地域にまで広がりました。

1940年に予定されていた(11)□□□□□□□□は戦争のために開けず、いつまでも続く戦いにうんざりする空気が国民の間に広がりました。こうした空気を何とか変えようと、政府は1940年の「皇紀2600年記念事業」を盛大に祝おうとしました。

日中戦争が始まった(8)□□□□年に宮崎県知事となった相川勝六（1891～1973）は、皇紀2600年記念事業で「記念塔」を建てることに決め、これが「八紘之基柱」となりました。塔の外側の形は、神主がお祓いに使う「御幣（白や金・銀の紙などを細長く切り、幣串にはさんだもの）」とし、荒御魂（武人）、奇御魂（漁人）、幸御魂（農人）、和御魂（工人）の4つの像が周りに置かれ、塔のなかには昭和天皇の弟 秩父宮雍仁親王（1902～1953）が書いた「八紘一宇」の書がおさめられました。相川勝六は塔を積み上げる石は、天皇の支配がどれだけ広い範囲に及んだかわかるように、世界中から送ってほしいと陸軍大臣に頼みました。国内・海外から送られてきた石の数は1789個にも及び、このうち364個は当時の日本の植民地や占領地から奪ってきたものでした。中国からの石が一番多く、そのなかには、現在、世界遺産となっている「万里の長城」の石など貴重なものがありました。そのほか

にも、朝鮮総督府や台湾総督府の石などもありました。延べ6万6500人が工事にに関わり、67万円が費やされ、1940年11月25日に「八紘之基柱」はできあがりました。完成は盛大に祝われました。

第2次世界大戦で日本が敗れると、こうした状況は一変しました。GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）は、戦争を肯定（よいと認める）したり、天皇を神として崇めたりすることを禁じ、日本神話の教育や紀元節は廃止されました。「八紘一宇」の文字は、戦争を進め、美化する言葉であったとして、公の書類のなかで使うことを禁じられました。宮崎県は急いで塔から「八紘一宇」の文字を削り、武力を示す荒御魂像も取り外しました。

占領が始まると、マッカーサーは(5)□□□□の廃止や参政権に関することなどの改革を指令し、日本の民主化を進めました。1946年1月1日、昭和天皇は自分が神であるという敗戦までの説明をやめ、この年の11月3日に公布された日本国憲法では、天皇が国家に関わることができる内容は、「内閣の助言と承認」に基づく(12)□□□□に限ると定められました。

「八紘之基柱」の呼び名はいつのまにか「平和の塔」と変わりましたが、塔の石はGHQから日本が戦争中に奪った各国の財産を返すよう命令があったものの、政府は何もせず、そのままにされました。2015年には中国の博物館から貴重な石を返してほしいという訴えがありましたが、宮崎県は「石がどのように運ばれてきたかわからず、調べようもないので、現状のまま保存する」として、話し合いに応じませんでした。

1957年、宮崎県は塔の周りの地域の呼び名を「八紘台」から「平和台公園」と変えました。このころ、宮崎県は観光で有名となり、平和台公園も新婚旅行のコースに入り、全国に知られるようになりました。1962年、観光に向けて平和台公園の整備を進めるということを理由に、荒御魂像は元に戻されました。

1964年9月10日、(11)□□□□□□□□の開会式の1ヵ月前に、平和台公園の平和の塔の前から、聖火リレーの1つが発射しました。1940年の(11)□□□□□□□□の計画には、宮崎から聖火リレーをスタートさせる、というのがありました。

塔の「八紘一宇」の文字は、(11)□□□□□□□□の終わった翌年に、元に戻されました。その後、1971年に塔の下につくられた平和台公園の由来を記した碑の文章には「……八紘一宇の文字が永遠の平和を祈念して刻みこまれている……」とありますが、「八紘一宇」という言葉の「歴史」については一切触れていません。

〈おわりに〉

2015年3月、参議院の予算委員会<sup>⑤</sup>で与党の議員が質問のなかで「八紘一宇」という言葉を使いました。この発言を聞いた多くの人は、なぜ侵略戦争を認めるこの言葉を使うのか、大変驚きました。今年、2018年は明治維新から150年目の年にあたります。「八紘一宇の塔」がどのような歴史をたどったか、日本の近代の歴史をもう一度振り返ることが大切です。

おもな参考文献・ホームページ

『宮崎県の歴史』坂上康俊・長津宗重・福島金治・大賀郁夫・西川誠 山川出版社

『新編 石の証言「八紘一宇」の塔〔平和の塔〕の真実』

「八紘一宇」の塔を考える会 編著 鈺脈社

「神話のふるさと 宮崎」宮崎県ホームページ

<https://www.kanko-miyazaki.jp/shinwanofurusato/index.html>

問1 文章中の空欄<sup>くうらん</sup>（1）～（12）に入る語句・数字を書きなさい。□内に1字とする。漢字で書くべき語句は、漢字で書くこと。空欄（9）はカタカナで答えること。

問2 下線部<sup>⑥</sup>について、次の（1）～（3）の文章は、ある県の県庁所在地について説明したものです。その都市名を、漢字で答えなさい。

（1）関東地方の北部にあるこの都市は、江戸時代には将軍が日光へお参りする途中で泊まる場所として栄えた。

（2）中国地方にあるこの都市は、城下町から発展し、かつて多くの軍事機関が置かれたが、現在は国際平和都市として知られる。

（3）北陸地方にあるこの都市は、加賀100万石の城下町として知られ、2015年3月に新幹線が長野からこの都市まで開業した。

問3 下線部<sup>⑦</sup>について、次の（1）～（3）の問いに答えなさい。

（1）次の表は、ある農産物について、生産量が多い都道府県を順に並べたものです。この農産物は何か、下のなかから記号で選び、答えなさい。

| 2015年 |       |         |                   |
|-------|-------|---------|-------------------|
| 順位    | 都道府県名 | 生産量（トン） | 占める割合<br>（％パーセント） |
| 1位    | 茨城    | 33200   | 23.6              |
| 2位    | 宮崎    | 26800   | 19.1              |
| 3位    | 高知    | 12600   | 9.0               |
| 4位    | 鹿児島   | 11900   | 8.5               |
|       | ：     | ：       | ：                 |
|       | 全国    | 140400  | 100.0             |

（『日本国勢図会2017/18』矢野恒太記念会）

ア. カボチャ    イ. レタス    ウ. ピーマン    エ. タマネギ

（2）宮崎県では畑作や畜産業がさかんです。宮崎県と同じように、畜産業がさかな次の表中の（ア）県を、漢字で答えなさい。

な次の表中の（ア）県を、漢字で答へなさい。

2016年

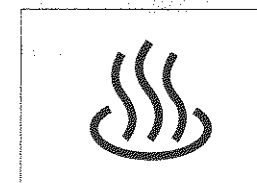
| 順位 | 都道府県名 | 豚 <sup>ぶた</sup> の頭数（万頭） |
|----|-------|-------------------------|
| 1位 | （ア）県  | 126.3                   |
| 2位 | 宮崎県   | 83.5                    |
| 3位 | 千葉県   | 67.3                    |
| 4位 | 群馬県   | 62.9                    |
| 5位 | 北海道   | 60.8                    |

| 順位 | 都道府県名 | 肉用若鶏 <sup>わかつり</sup> （ブロイラー）の頭数（万羽） |
|----|-------|-------------------------------------|
| 1位 | 宮崎県   | 2744                                |
| 2位 | （ア）県  | 2684                                |
| 3位 | 岩手県   | 2179                                |
| 4位 | 青森県   | 712                                 |
| 5位 | 北海道   | 464                                 |

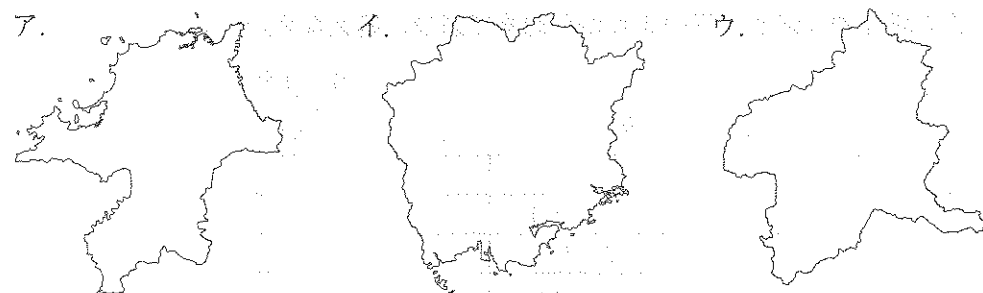
（『日本国勢図会2017/18』矢野恒太記念会）

（3）宮崎県南部の飫肥杉<sup>おび</sup>は、江戸時代に飫肥藩が植林を始め、その木材は船をつくる材料としてさかんに用いられました。藩がこのような事業をすすめた理由を述べなさい。

問4 下線部<sup>⑧</sup>の地域を地形図でみると、次の地図記号が多くみられます。この地図記号を答え、なぜ多く分布するのか、理由を述べなさい。



問5 次の図は、下線部②の県の形を示したものです。このなかから岡山県を選び、記号で答えなさい。



問6 下線部⑥について、このころに起きたできごととして正しいものを、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。

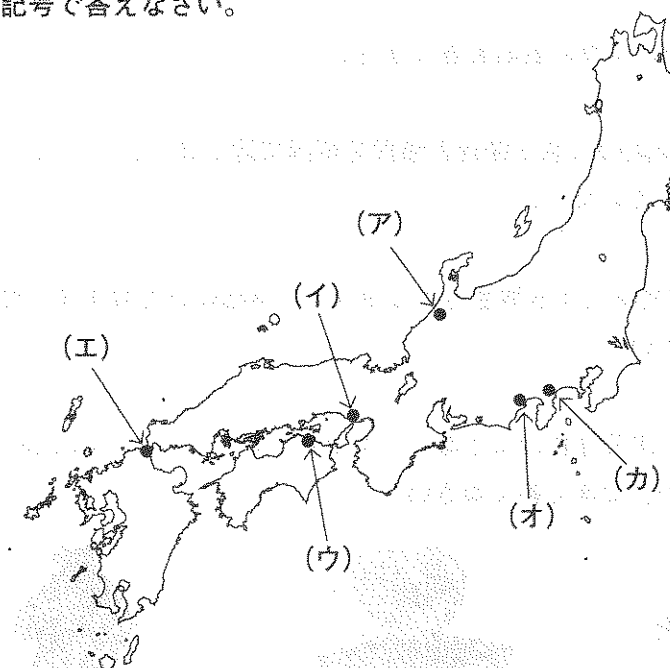
- ア. 渡来人によって、多様な技術や文化が伝えられた。
- イ. 邪馬台国の卑弥呼が、中国の皇帝に使いを送った。
- ウ. 白村江の戦いで、倭国は唐・新羅の連合軍に敗れた。
- エ. 天智天皇の後継ぎをめぐって、壬申の乱が起きた。

問7 下線部④について、源氏と平氏の争いに関する次の年表をみて、(1)(2)の問いに答えなさい。

- 1180年 ①源頼朝が伊豆で兵を挙げた  
石橋山(現在の小田原市付近)の戦い  
源義仲が信濃国(現在の長野県)で兵を挙げた  
富士川の戦い
- 1181年 平清盛が死去した
- 1183年 倶利伽羅峠(砺波山)の戦い
- 1184年 一の谷の戦い
- 1185年 屋島の戦い

(2) 年表中の下線部①について、平清盛は1159年に起きた戦いに勝ち、当時子どもであった源頼朝を伊豆へ流しました。この戦いの名前を答えなさい。

(2) 年表中の空欄(②)にあてはまる語句を入れ、地図のなかからその場所を選び、記号で答えなさい。



問8 下線部⑤について、次の(1)(2)の問いに答えなさい。

- (1) 南北朝の争いを終わらせた将軍の名前を、漢字で答えなさい。
- (2) (1)の将軍は中国と貿易をおこないました。この中国の王朝の名前を、漢字で答えなさい。

問9 下線部④について、織田信長は1576年に琵琶湖の近くに城を築きました。次の史料は1577年にその城下町に出した法令の一部です。城が築かれた場所を答え、この法令がどのような目的で出されたのか、述べなさい。

(現代語訳)

一、この城下町では自由に商売をできると命令したからには、いろいろな税は、すべて免除する。

問 10 下線部㊸について、次の(1)(2)の問いに答えなさい。

- (1) 江戸幕府の最後の将軍の名前を答えなさい。
- (2) 1869年、全国の大名が領地と領民を朝廷に返しました。このことを何というか、漢字4字で答えなさい。

問 11 下線部㊹は、縄文時代から弥生時代にかけての時期にあたります。次の(1)(2)の問いに答えなさい。

- (1) 縄文時代には、次の写真のような、人や動物をかたどったものが造られました。これを何というか、漢字で答えなさい。



(『最新日本史図表』第一学習社)

- (2) 弥生時代の集落には、周りを堀で囲んだものがみられます。このような集落が作られるようになった理由を述べなさい。

問 12 下線部㊺について述べた次の文章のなかで、間違っているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 1月7日は豊作と無病息災を願い、七草粥を食べた。  
イ. 3月3日は現在、「ひな祭り」の日として知られる。  
ウ. 5月5日は現在、「みどりの日」の祝日となっている。  
エ. 7月7日は織姫と彦星が会おう、七夕として知られる。

問 13 下線部㊻について、次の(1)(2)の問いに答えなさい。

- (1) 1891年、キリスト教徒のある人物が、本文中の空欄(5)□□□□に拝礼しなかったという理由で、教員をやめさせられました。後に、日露戦争に対して非戦論を唱えて反対したこの人物を次のなかから選び、記号で答えなさい。

ア. 福沢諭吉    イ. 中江兆民    ウ. 内村鑑三    エ. 田中正造

- (2) 「君が代」は『古今和歌集』におさめられた歌です。『古今和歌集』がつくられた時代を次のなかから選び、記号で答えなさい。

ア. 奈良時代    イ. 平安時代    ウ. 鎌倉時代    エ. 室町時代

問 14 下線部㊼について、次の(1)(2)の問いに答えなさい。

- (1) 現在、「国民の祝日に関する法律」が制定されています。次のア～オの祝日を1月から順番に並べた場合、3番目にあたるものを選び、記号で答えなさい。

ア. 山の日    イ. 成人の日    ウ. 敬老の日    エ. 体育の日    オ. 海の日

- (2) 現在の2月11日の「建国記念の日」は、1966年に佐藤栄作内閣が定めました。内閣が定める命令を何というか、漢字2字で答えなさい。

問 15 下線部㊽について、イギリスのような議院内閣制を主張して政党を作った人物の名前を答えなさい。

問 16 下線部㊾の人物に関して正しいものを、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 薩摩藩の出身の人物である。  
イ. 自由党をつくり党首となった。  
ウ. 初代内閣総理大臣となった。  
エ. 中国のシャンハイで暗殺された。

問 17 下線部⑤について、次の史料は五日市（現在の東京都あきる野市）の人々が学習会や討論会を重ね、作りあげた憲法案の一部です。本文の内容を参考にして、大日本帝国憲法とはどのような点が異なるか、述べなさい。

- ・日本国民は、各自の権利や自由を達成しなければならない。ほかからこれをさまたげてはならない。国の法律はこれを保護しなければならない。
- ・日本国民は検閲を受けることなく、自由に、思想・意見・論説などを出版し、討論・演説をすることができる。

問 18 下線部⑥について、この機関の事務局次長を務めた人物を、次のなかから選び、記号で答えなさい。

- ア. 陸奥宗光    イ. 小村寿太郎    ウ. 原 敬    エ. 新渡戸稲造

問 19 下線部⑦について、この年にアメリカ合衆国が日本に輸出することを禁じたものを答えなさい。

問 20 下線部⑧について、1944年7月に、ある場所がアメリカ軍の手に落ちたことで、日本本土の広い範囲が空襲に遭うようになりました。この場所を次のなかから選び、記号で答えなさい。

- ア. ルソン島    イ. ハワイ島    ウ. シンガポール島    エ. サイパン島

問 21 下線部⑨のなかには、ヨーロッパのある国から送られたものがありました。第2次世界大戦中に日本と同盟を結んでいたこの国を、次のなかから選び、記号で答えなさい。

- ア. ソ連    イ. ドイツ    ウ. オランダ    エ. フランス    オ. イギリス

問 22 下線部⑩について、この改革により選挙に投票できる人の資格はどのように変わったか、変わった部分を明らかにして、述べなさい。

問 23 下線部⑪について、次の（１）（２）の問いに答えなさい。

（１）日本国憲法が施行された年月日を答えなさい。

（２）次の文章のなかから、日本国憲法で定められていることとして間違っているものを１つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 天皇は「日本国民統合の象徴」である。  
イ. 司法権は最高裁判所と下級裁判所にある。  
ウ. すべて国民は個人として尊重される。  
エ. 内閣が憲法改正の発議をおこなう。

問 24 下線部⑫について、予算をつかさどるのはどこの省の大臣か、漢字で答えなさい。

問 25 下線部⑬について、次の（１）～（４）の問いに答えなさい。

（１）2017年10月22日におこなわれた第48回衆議院議員総選挙について、次の文章の空欄にあてはまる数字・語句を答えなさい。

現在の衆議院の選挙制度は、小選挙区比例代表並立制で、1994年に細川護熙内閣が導入しました。はじめは、定数（ア）□の小選挙区を300設け、全国を11のブロックに分けておこなう比例代表選挙で200人を選び、総議席数は500でした。その後、定員の見直しがおこなわれ、今回は戦後最も少ない総議席数（イ）□□□となりました。

（ウ）□□省が発表した今回の選挙の投票率は53.68パーセント、①戦後2番目の低さでした。②18歳の投票率は47.87パーセント、19歳は33.25パーセントで、ともに全体を下回りました。

（２）この選挙の結果、野党第1党となった政党の名前を、漢字で答えなさい。

（３）下線部①の低い投票率について、何が問題かを考えて、答えなさい。

（４）下線部②について、18歳と19歳の投票率では、19歳の方が低くなっています。その理由について、あなたが考えたことを述べなさい。

|    |      |  |  |     |  |   |      |     |  |  |     |     |      |     |  |  |  |  |
|----|------|--|--|-----|--|---|------|-----|--|--|-----|-----|------|-----|--|--|--|--|
| 問1 | (1)  |  |  | (2) |  |   | (3)  |     |  |  | (4) |     |      | (5) |  |  |  |  |
|    | (6)  |  |  | (7) |  |   |      | (8) |  |  |     | (9) |      |     |  |  |  |  |
|    | (10) |  |  | 月   |  | 日 | (11) |     |  |  |     |     | (12) |     |  |  |  |  |

|    |     |  |   |     |  |   |     |  |   |
|----|-----|--|---|-----|--|---|-----|--|---|
| 問2 | (1) |  | 市 | (2) |  | 市 | (3) |  | 市 |
|----|-----|--|---|-----|--|---|-----|--|---|

|    |     |  |     |  |   |     |  |
|----|-----|--|-----|--|---|-----|--|
| 問3 | (1) |  | (2) |  | 県 | (3) |  |
|----|-----|--|-----|--|---|-----|--|

|    |      |  |    |  |    |  |     |
|----|------|--|----|--|----|--|-----|
| 問4 | 地図記号 |  | 理由 |  | 問5 |  | ( ) |
|----|------|--|----|--|----|--|-----|

|    |  |    |     |  |     |  |    |
|----|--|----|-----|--|-----|--|----|
| 問6 |  | 問7 | (1) |  | (2) |  | 場所 |
|----|--|----|-----|--|-----|--|----|

|    |     |  |     |  |
|----|-----|--|-----|--|
| 問8 | (1) |  | (2) |  |
|----|-----|--|-----|--|

|    |    |    |
|----|----|----|
| 問9 | 場所 | 目的 |
|----|----|----|

|     |     |  |     |  |
|-----|-----|--|-----|--|
| 問10 | (1) |  | (2) |  |
|-----|-----|--|-----|--|

|     |     |  |     |  |
|-----|-----|--|-----|--|
| 問11 | (1) |  | (2) |  |
|-----|-----|--|-----|--|

|     |  |     |     |  |     |  |
|-----|--|-----|-----|--|-----|--|
| 問12 |  | 問13 | (1) |  | (2) |  |
|-----|--|-----|-----|--|-----|--|

|     |     |  |     |  |     |  |     |  |     |
|-----|-----|--|-----|--|-----|--|-----|--|-----|
| 問14 | (1) |  | (2) |  | 問15 |  | 問16 |  | ( ) |
|-----|-----|--|-----|--|-----|--|-----|--|-----|

|     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 問17 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

|     |  |     |  |     |  |     |  |
|-----|--|-----|--|-----|--|-----|--|
| 問18 |  | 問19 |  | 問20 |  | 問21 |  |
|-----|--|-----|--|-----|--|-----|--|

|     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 問22 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

|     |     |    |  |  |  |   |   |   |     |  |     |  |   |
|-----|-----|----|--|--|--|---|---|---|-----|--|-----|--|---|
| 問23 | (1) | 西暦 |  |  |  | 年 | 月 | 日 | (2) |  | 問24 |  | 省 |
|-----|-----|----|--|--|--|---|---|---|-----|--|-----|--|---|

|     |     |   |  |   |  |  |   |  |     |  |   |  |
|-----|-----|---|--|---|--|--|---|--|-----|--|---|--|
| 問25 | (1) | ア |  | イ |  |  | ウ |  | (2) |  | 党 |  |
|     | (3) |   |  |   |  |  |   |  |     |  |   |  |
|     | (4) |   |  |   |  |  |   |  |     |  |   |  |

|         |     |     |     |
|---------|-----|-----|-----|
| 受 験 番 号 | 氏 名 | 得 点 | ( ) |
|         |     |     |     |